



【理念】

患者さまの立場に立ち、その方の終生にわたり健康を支え、質の高い診療と心地よい療養環境を提供します。

【基本方針】

- ★ 患者様のニーズと負担を考慮し、適正で効率的な医療を提供します。
- ★ 医療スタッフによる十分な説明と患者さまの選択に基づく開かれた医療を進めます。
- ★ 地域に根ざし、患者さまに終生かわり合いを持つ医療を目指します。
- ★ 患者さま、職員にとって「心地よい環境」の向上に努めます。



《INDEX》

- | | | |
|--------|-------------|---------------|
| P. 1 | 表紙 | <サルビア> |
| P. 2～3 | 倉敷けんしんのご案内 | |
| P. 4～5 | MRI検査の紹介 | |
| P. 6～7 | 第17回呼吸器患者教室 | |
| P. 8 | ひとりごと | <病院機能評価を受審して> |

倉敷けんしんのご案内

ご希望の方は**けんしん受診券**と**保険証**を持って
受付窓口へお越しください。



倉敷市の生活習慣病予防健診

生活習慣病予防健診を受けて自身のからだの状態を把握することが、
発症や重症化の予防につながります。



国保特定健診・75歳健診は心電図と腹囲測定あり



倉敷市のがん検診など

身近な病気ですが早期発見・早期治療をすれば
治る可能性も高まり、決して怖い病気ではありません。



倉敷けんしんで健康状態を確認しましょう。

倉敷けんしんのご案内



平日は毎日実施しています！

Point
01

土日祝を除いて毎日受付を行っております。
お盆休み中にも受けていただくことができます。

Point
02

乳がん検診以外は当院で受けられます！

乳がん検診を除いて全てのけんしんを行っておりますので、
複数のけんしん項目が該当の方は、まとめて行うことが可能です。

Point
03

予約必須の検診はごくわずか！ほぼ当日OK！！

当院では子宮頸がん検診・歯周病検診以外予約不要です。けんしん受診券と
保険証があれば当日の実施が可能です。※胃がん検診のみ事前診察が必要です。

実施日：月曜日～金曜日 ※祝日除く
受付時間：8時～11時・12時40分～16時
持参物：けんしん受診券・保険証



マイナ受付のご案内



当院はマイナ受付に対応しています。

マイナンバーカードを保険証として使用する手続き
を行っている方は、受診の際にマイナンバーカード
をお持ちください。 ※事前に登録が必要です。

再来受付機で受付手続き後、受付窓口を設置して
いるカードリーダーでマイナ受付手続きをお願い
します。

操作方法が不明な方は、
お気軽に受付スタッフにお声かけください。

窓口での支払いが高額になる場合に自己負担額を
所得に応じた限度額で止めることができます。
今まで医療機関に提出が必要だった限度額認定証
の準備が不要になります。

ご使用方法について

受付窓口設置しているカードリーダーに
マイナンバーカードを置いてください。



※顔写真を表向きに置いてください。



マイナンバーカードを置いた後は

画面の指示に従って操作してください。

- カバー等は外してください。
- 受付完了後はマイナンバーカードを
忘れずお取りください。



MRI検査の紹介

当院のMRI装置は、2025年2月に更新を行い新しい装置になりました。

装置は、シーメンス社製 MAGNETOM Skyra Fit with BioMatrixになります。

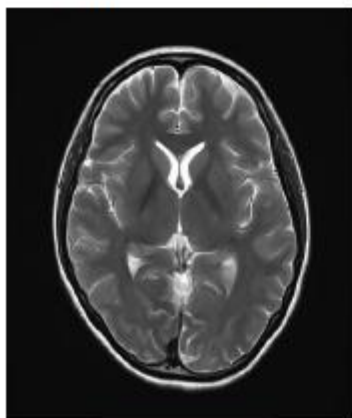
以前の装置では、通常1検査当たり25～30分程度時間をかけて、良い画像が提供できるように日々検査を行っていましたが、装置が新しくなり、検査時間も大幅に短縮できるようになり画質も向上いたしました。時間が短縮したことにより、患者様への負担が大きく軽減致しました。

… 主な検査をご紹介します

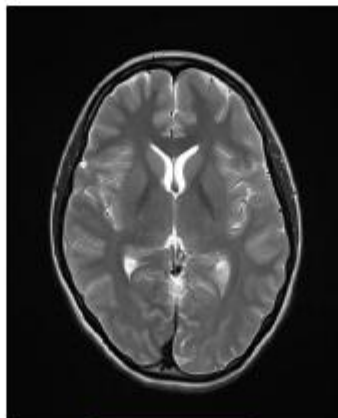
頭 部

検査時間：約15分

当院では、7～8個の撮影をさせていただきます。以前の装置でも同じ数の撮影を行っていましたが、検査時間は約25分かかっていました。



新しい装置



以前の装置

● T2強調画像

新しい装置での撮影時間は、
0：43 です

以前の装置での撮影時間は、
1：57 です

半分以下の撮影時間ですが、
画質は良くなっています。

腰 椎

検査時間：約17分

当院では、撮影を全部で7個撮影をさせていただきます。以前の装置でも同じ数の撮影を行っていましたが、検査時間は約25分程度かかっていました。



新しい装置



以前の装置

● STIR画像

新しい装置での撮影時間は、
2：20 です

以前の装置での撮影時間は、
2：22 です

撮影時間はほとんど同じですが、
画質はかなり良くなっています。

MRI装置の紹介

膝関節

検査時間 : 約18分

当院では、3方向からの撮影を全部で8個撮影をさせていただきます。以前の装置でも同じ数の撮影を行っていましたが、検査時間は約28分程度かかっていました。



新しい装置



以前の装置

● T1強調画像

新しい装置での撮影時間は、
1 : 35 です

以前の装置での撮影時間は、
2 : 23 です

撮影時間は3割程度短縮
しており、画質はかなり良
くなっています。

当院の装置は、AIを活用した画像再構成技術（Deep Resolve）が使用されており
MRI画像の質と検査効率が向上しています

»»» Deep Resolveの主な機能 »»»

<Deep Resolve Gain>

画像内のノイズをAIが賢く除去し、クリアな画像を提供します。画像全体のノイズを均一に除去するのではなく、ノイズが多い部分だけを集中的に除去するため、画像がクリアになり、より小さな病変も見つけやすくなります。

<Deep Resolve Sharp>

画像の解像度を向上させ、よりシャープで詳細な画像を実現します。AIが、低解像度の画像から高解像度の画像を予測して再構成することで、細かい構造や境界線がよりはっきりと見えるようになります。これにより、診断の精度向上に貢献します。

<Deep Resolve Boost>

rawデータから直接高画質の画像を再構成することで、検査時間を大幅に短縮します。全身のさまざまな部位に適用でき、シーメンスのSMS（Simultaneous Multi-Slice）技術と組み合わせることで、さらに高速化することも可能です。



第17回呼吸器患者教室

2025年6月3日（火）に17回目の呼吸器患者教室を行いました。2011年に1回目を開催して以降、年1～2回のペースで患者教室を開いてきましたが、2019年11月12日の患者教室を最後に、COVID-19の流行、蔓延のため中止を余儀なくされていました。しかし、この度、席の間隔を空けるなどの感染対策を取りながら、約6年ぶりに呼吸器患者教室を無事開催することが出来ました。雨天の中、足を運んで下さった方、興味を持って下さった入院患者様など12名の方が参加されました。17回目のテーマは「呼吸器不全患者さんへのリハビリ～呼吸リハビリテーション～」ということで、リハビリテーション課、理学療法士の藤原が約1時間講演を行いました。内容は肺の役割や、COPD・間質性肺炎などの病気について学び、さらには運動の必要性、実際の運動方法や息切れ対策を参加者の方々と学習しました。クイズや実際に質問用紙に回答して頂くなど参加型の会であり、多くの方に満足して頂く結果となりました。



リハビリと聞くと、多くの方が思い浮かべる怪我や病気は「骨折」や「脳卒中」だと思います。今回、患者教室のテーマとなっているCOPDや間質性肺炎といった呼吸器疾患もリハビリの対象です。しかし、COPDや間質性肺炎という病気の認知度は低く、聞いたことのない方が多い...これが現状です。今後も年に数回程度、呼吸器患者教室を開催していく予定です。息切れに悩んでいる方、呼吸器疾患に興味のある方は、是非次回参加して頂ければ幸いです。





病院機能評価を受審して 総院長 坂口 孝作

病院には大規模な病院もあれば中小の病院もあり、急性期疾患を診療する病院、高齢者の回復期・慢性期を中心に診療する病院など様々な病院があります。それぞれの病院はその特性・機能・役割に応じて地域の人々の診療・ケアを行い、それらの病院が総合的に連携して地域医療が維持されます。従って、それぞれの病院は一定の基準で適切に診療・ケアが行われ運営されることが求められますが、それを第三者によって客観的に評価される必要があります。

この目的のために、倉敷第一病院は2025年7月15、16日に公益法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG: Ver.3.0を受審いたしました。病院機能評価とは病院の運営管理や診療・ケアについて、日本医療機能評価機構により客観的、専門的に評価されるものです。審査日当日には、各専門領域（診療、看護、事務、薬剤、リハビリテーションなど）の知識を有する複数の“サーベイヤー”がチームで病院を訪問し、病院の日常診療業務を審査します。病院機能評価により一定の水準を満たした病院は「認定病院」となり、地域に根差し、安全・安心、信頼と納得の得られる医療・ケアサービスを提供すべく日常的に努力している病院として評価されます。

倉敷第一病院では、平成11年（1999年）に第1回目の病院機能評価を受け、それ以後、平成16年（2004年）、平成21年（2009年）、平成26年（2014年）、平成31年（2019年）と過去5回定期的に病院機能評価を受けてきました。2020年から始まった新型コロナウイルス（COVID19）感染の蔓延によりしばらく受審することができませんでしたが、ようやく今年、令和7年（2025年）に6回目の病院機能評価を受審することができました。

病院の全てを見ていただき評価を受けるわけですから、準備もそれなりに大変です。私たちも、今回の病院機能評価の受審は病院の質的改善を図る機会と考え、2024年の年末から全職員で書類を整理したり、環境を整えたりと努力しました。受審日当日には、第1領域：患者中心の医療の推進、第2領域：良質な医療の実践1（病院組織として決定された事項の、診療・ケアにおける確実に安全な実施）、第3領域：良質な医療の実践2（確実に安全な診療・ケアを実践するうえで求められる機能の各部門における発揮）、第4領域：理念達成に向けた組織運営、の4つ領域で審査されました。細かい点で指摘事項はありましたが、特に重大な問題点を指摘されることなく順調に審査を受けることができました。

正式な結果はまだ公表されていませんが、おそらく順当に評価されると思います。この病院機能評価の受審を介した質改善活動から得られたものもたくさんありました。倉敷第一病院はこうした質改善活動を介して、その時代の地域医療ニーズに沿った病院診療・ケア提供、運営を今後も継続していきます。